

群馬県中小企業団体中央会

第59回通常総会開催

第59回通常総会が5月29日(金)、前橋商工会議所会館「ローズ」において開催された。総会では、平成27年度事業計画・予算をはじめとする5議案について、すべて原案通り可決承認・決定されるとともに、役員改選が行われ、金子会長が再選され、4期目がスタートした。

通常総会は、委任状出席を含めて331会員が出席し、大澤正明群馬県知事をはじめ、県、関係機関、金融機関からの来賓出席を得て、定刻どおり午後3時30分に開会した。

総会の冒頭、開会挨拶に立った金子正元会長は、「昨年度は『富岡製糸場と絹産業遺産群』が世界文化遺産として登録されたことを受け、富岡市の商店街組合、食品関連、繊維関連の組合、学生、地元関係者の連携をコーディネートし、地元土産品の開発支援を行った。



金子正元会長

本年度は、新規事業として、組合が行う新製品の開発や、新分野進出に向けた調査研究等に対し助成を行う『組合新事業チャレンジ助成事業』を実施。また、国の受託事業として、『外国人技能実習制度適正化事業』を新たに実施する

とともに、『ものづくり補助金事業』も継続して取り組んでまいります」と述べた。

次いで、ご臨席いただいた来賓の方々より祝辞が述べられた。

初めに、大澤知事が、「本県経済は自動車関連産業を中心に高水準の生産が続いている他、雇用・所得環境の改善が続くなど景気は回復基調にある。その一方で、円安による輸入原材料の高騰やエネルギーコストの上昇などにより厳しい経営環境におかれている中小企業の皆さまも少なくない。県としては「元氣飛躍予算」として編成した平成27年度当初予算の効果的・効率的な執行に努め、本県経済の回復の動きをより確かなものとするとともに、交通網や産業観光などの優位性を活かし、群馬の未来の創生に引き続き、全力で取り組んでいく」と力強く語った。



大澤正明知事

次いで、群馬県議会議長岩井均氏が、「我が国の景気は、輸出の持ち直しや設備投資の増加基調などにより緩やかな回復を続けており、一層の景気回復への期待感が高まっている。一方で、円安により仕入価格が上昇するなどのマイナスの影響も懸念されており、一日も早く景気回復の流れを本格的なものとし、県民生活の向上につなげていかなければならない。県議会としても、中小企業の活性化は県政の最重要事項のひとつと認識しており、関係機関と連携を図りながら、今後とも力を入れて取り組んでいく」と述べた。



岩井均議長

続いて、金子会長が議長に選任されて議事に入り、第1号議案から第5号議案について、木村常務理事・事務局長が説明を行い、いずれの議案も満場一致で原案どお



神山一成 日銀支店長

◆ ◆ ◆
 通常総会終了後、地元選出国会議員や関係諸機関等多くの来賓出席のもと、懇親会が開催された。初めに、金子会長が開会挨拶を行った後、金融機関を代表として、日本銀行前橋支店長神山一成氏が「県内中小企業が元気になって初めて、県内経済が真に回復する。金融機関との連携をとりつつ、支

り可決承認・決定された。
 続く第6号議案では、役員全員任期満了に伴う役員改選が行われ、金子会長が再選され、理事40名、監事3名が選任された。
 また、総会議事を中断して開かれた理事会において、副会長に、町田錦一郎、吉田勝彦、遠藤祐司が再選され、新たに櫻井弘、武井宏が就任し、三宅正俊は退任した。尚、退任した三宅前副会長は参与に推戴された。



乾杯の音頭をとる吉永國光東和銀行頭取



児玉三郎 経営者協会会長

援を継続していく」と述べた。
 次いで、友好団体を代表して、群馬県経営者協会会長児玉三郎氏が「群馬県中央会の会員は約420組合。所属する企業は2万4千社。両経済団体が手を取り合って、群馬県の経済を良くしよう」と挨拶した。
 次いで、東和銀行吉永國光取締役頭取が「今年の経済のテーマは、

地方創生。実現のためにはやはり「企業」が主役である」と述べ、声高らかに乾杯の発声を行った。

和やかな雰囲気の中で懇親が深められ、町田副会長の中々の挨拶をもって全日程を終了した。

新役員名簿

役職	氏名	所属
会長	金子正元	群馬県中小企業振興協同組合
副会長	町田錦一郎	群馬県インテリテック事業協同組合
〃	吉田勝彦	前橋機械金属工業協同組合
〃	遠藤祐司	群馬県高圧容器整備協同組合
〃	* 櫻井弘	群馬県柔道整復師協同組合
〃	* 武井宏	群馬県トラック事業協同組合
専務理事	中山正司	(専従)
専務理事	木村創造	(専従)
常任理事	田部井俊勝	ぐんま共済協同組合
〃	濱川祐作	群馬県電機商業組合
〃	吉田吉太郎	群馬県印刷工業組合
〃	柳澤光雄	群馬県酒造協同組合
〃	青柳剛	群馬県建設事業協同組合
〃	後藤隆造	桐生織物協同組合
〃	坂本正堂	太田機械金属工業協同組合
〃	松井誠	一般社団法人群馬県信用組合協会
〃	松本修平	高崎卸商社街協同組合
〃	串田紀之	群馬県管工設備協同組合
〃	町田一明	高崎機械工業協同組合
〃	* 小林美知夫	群馬県生コンクリート工業組合
〃	* 今川守	群馬県商店街振興組合連合会
〃	* 森田繁	群馬県旅館ホテル生活衛生同業組合

役職	氏名	所属
常任理事	* 小谷野一彦	群馬県電気工事工業組合
理事	植木修	前橋中心商店街協同組合
〃	都丸正樹	協同組合前橋問屋センター
〃	内藤達雄	群馬県パン協同組合
〃	上岡克己	群馬県再生資源事業協同組合連合会
〃	久保田清	群馬県室内装飾事業協同組合
〃	田村直之	伊勢崎織物協同組合
〃	星野陽司	群馬県製麺工業協同組合
〃	村上明男	富岡機械金属工業団地協同組合
〃	神保文明	群馬県中古自動車販売商工組合
〃	高橋康男	群馬県ビルメンテナンス協同組合
〃	武藤澄雄	群馬県鍍金工業組合
〃	谷田部榮一	群馬県不動産事業協同組合
〃	* 黒澤昇	東日本編レース工業組合
〃	* 松井和夫	群馬県リカ食品協同組合
〃	* 大竹良明	群馬県鐵構業協同組合
〃	* 福島行孝	群馬県自動車車体整備協同組合
〃	* 桑原洋	群馬県板金工業組合
〃	* 高野博道	群馬県菓子工業組合
監事	植木 巖	群馬県紙製ポール箱工業組合
〃	手島昇一	群馬県税理士協同組合
〃	* 赤間美代子	赤帽群馬県軽自動車運送協同組合

*は新任

怒りの コントロール術を学ぶ



講習会の様子

4月22日、高崎市・高崎ビューホテルにおいて、高崎機械工業協同組合（町田一明理事長、組合員47人）を対象に、「怒りをコントロールする技術」をテーマに講習会を開催した。講師は一般社団法人アンガーマネジメント協会代表理事安藤俊介氏。

安藤氏は怒りについて、「人間にとって自然な感情の一つであり、身を守る機能を果たす等、無くすことは不可能なもの」と説明。その上で、怒りの「コントロールとは、「怒りを無くすことではなく、必要のある時に上手に怒ることを意味する」と解説した。

続いて怒りの原因について、「人は物事に対し、常にこうある『べき』と考え行動するが、これが裏

切られたと感じると怒りに達する」と解説。この『べき』は、本人にとってには常に正しいものであるが、実際は立場や環境によって変化する等、個人差があり、多くは程度問題であると指摘した。

これを踏まえ、『べき』には許容可能な範囲が人それぞれにある。自分と相手の『べき』を考え、自分を押し付けるのではなく、相手を受け入れることで、相手との許容範囲の共有が可能になり、怒りのコントロールに繋がる」と解説した。

- ①強度が強い
- ②持続性がある
- ③頻度が高い
- ④攻撃性がある

以上の特性を持つ怒りはコミュニケーションの崩壊を招く恐れがあるので注意が必要

◎研修を終えて

怒りのコントロールにより、自分も他者もモノも傷つけない怒りの表現が可能になるとのこと。パワハラ等が注目を集める今、重要なスキルであると感じました。

群馬県商店街振興組合連合会 第45回通常総会・研修会開催

群馬県商店街振興組合連合会（今川守会長、会員14組合）は、5月18日、前橋市・アニバーサリーコートラシーネにおいて第45回通常総会・研修会を開催した。昨年に引き続き、今回の通常総会・研修会には、群馬県をはじめ、前橋市、高崎市、桐生市、富岡市、渋川市、沼田市の商店街振興に携わる各課の方々を招き、総勢34名が参加した。

今川守会長、本会木村創造常務理事が挨拶を行った後、今川会長が議長に選任され、事業報告・決算、事業計画・収支予算、経費の賦課・徴収方法、借入金残高の最高限度について審議がなされ、満場一致で原案通り可決承認・決定された。

その後、群馬県環境森林部環境工ネルギー課の黒沢勉係長が「ぐんまクールシェア2015」の概要を説明し、閉会した。

通常総会終了後、「大型店に負けない店づくり」商店街個店指導の現場から」をテーマに、株式会社ラフィネット総合企画代表取締役の水井澄人氏が講演を行った。

水井氏は、個店は消費者の志向の変化に対応できていないと指摘



研修会



水井澄人氏

し、「店づくり」「看板商品」「売り方」「情報の伝え方」を具体的に考える必要があると説明した。

また、商品の価値を出すためには、顕在意識の五感に加え、潜在意識を刺激するもう一つの要素（シズル感）を組み込むことが重要と述べた。更に、買う側の視点に基づいた店づくり（見える化）、外に向かつて見せる仕掛けづくり

◎通常総会・研修会を終えて
柔軟な発想、失敗を恐れず実践する行動力が大切と感じました。今回の研修を活かし、商店街全体で問題に取り組み、活性化して欲しいと思います。



懇親会

（見える化）が必要であり、「見える化」「見せる化」にシズル感を持たせることが重要と解説した。

研修会終了後、懇親会を開催した。今川会長、群馬県産業経済部の高橋厚部長の挨拶に続いて、高崎市商工観光部商工振興課の川嶋昭人課長の音頭で乾杯となり、相互の懇親・懇談が図られる中、桐生市産業経済部産業政策課の関口郁雄課長による中締めにより、盛会裡に終了となった。